

連立方程式① 加減法（たす・ひく）

中2 / 文字を1つ消して解く 6問

なまえ _____

ひづけ _____

きまり 消したい文字の係数を見て、たすかひくかを決める

れい（上の式を①、下の式を②とよぶ）

$$\textcircled{1} \quad x + 2y = 7$$

$$\textcircled{2} \quad 3x - 2y = 5$$

$$\textcircled{1} + \textcircled{2} \quad 4x = 12$$

$$x = 3 \text{ を } \textcircled{1} \text{ に代入して } 3 + 2y = 7 \rightarrow y = 2$$

たす 係数が 反対の符号（+2 と -2）

ひく 係数が 同じ符号（+2 と +2）

- ・ひくときは、引く式の 全部の項の符号が変わる
- ・文字が1つ消えたら、1つの文字の方程式になる
- ・求めた文字を もとの式に入れて、もう1つを求める

次の連立方程式を、加減法で解きなさい。まず、消したい文字の係数を見て、たすかひくかを決めます。答えが出たら、もとの式に入れて確かめましょう。（答えは x と y の両方を書く）

問1
$$\begin{cases} 2x - 4y = 6 \\ -2x - 5y = 30 \end{cases} \quad \begin{matrix} x = \square \\ y = \square \end{matrix}$$

とき方

問4
$$\begin{cases} x - y = 4 \\ x + 5y = -14 \end{cases} \quad \begin{matrix} x = \square \\ y = \square \end{matrix}$$

とき方

問2
$$\begin{cases} 2x + 4y = 2 \\ 2x - 4y = -14 \end{cases} \quad \begin{matrix} x = \square \\ y = \square \end{matrix}$$

とき方

問5
$$\begin{cases} 2x - 3y = 14 \\ -2x + 2y = -8 \end{cases} \quad \begin{matrix} x = \square \\ y = \square \end{matrix}$$

とき方

問3
$$\begin{cases} x + 3y = 16 \\ 4x + 3y = 19 \end{cases} \quad \begin{matrix} x = \square \\ y = \square \end{matrix}$$

とき方

問6
$$\begin{cases} 3x + 3y = -21 \\ x + 3y = -13 \end{cases} \quad \begin{matrix} x = \square \\ y = \square \end{matrix}$$

とき方

見直し ☐ たすかひくかを先に決めた ☐ 答えを もとの式に入れて 確かめた まちがい（ ）問



いちごドリルプリント

つづきの無料プリント

「連立方程式」のプリント一覧がひらきます



連立方程式② 加減法（係数をそろえる）

中2 / 何倍かして係数をそろえる 6問

なまえ _____

ひづけ _____

きまり 消したい文字の係数を、同じ数にそろえてから たす・ひく

れい（上の式を①、下の式を②とよぶ）

$$\textcircled{1} \quad 2x + 3y = 12 \quad \times 3 \quad 6x + 9y = 36$$

$$\textcircled{2} \quad 3x + 2y = 13 \quad \rightarrow \quad \times 2 \quad 6x + 4y = 26$$

$$\textcircled{1} \times 3 - \textcircled{2} \times 2$$

$$5y = 10$$

$$y = 2 \rightarrow \textcircled{1} \text{ に代入して } x = 3$$

1 係数の 最小公倍数を 見つける

2 その数になるよう 式を何倍かする

3 右辺にも 同じ数を かける

4 たすかひくかを決めて 1つ消す

5 求めた値を もとの式に入れる

次の連立方程式を、加減法で解きなさい。まず、消したい文字の係数を同じ数にそろえます。

式を何倍かするときには、右辺にも同じ数をかけます。答えは x と y の両方を書く。

問1
$$\begin{cases} 3x + 4y = 22 \\ 6x - 5y = -8 \end{cases} \quad \begin{matrix} x = \square \\ y = \square \end{matrix}$$

とき方

問4
$$\begin{cases} x + 4y = -21 \\ x - 2y = 15 \end{cases} \quad \begin{matrix} x = \square \\ y = \square \end{matrix}$$

とき方

問2
$$\begin{cases} x + 3y = -8 \\ 2x + 5y = -15 \end{cases} \quad \begin{matrix} x = \square \\ y = \square \end{matrix}$$

とき方

問5
$$\begin{cases} 4x + 3y = 19 \\ 2x - 5y = -23 \end{cases} \quad \begin{matrix} x = \square \\ y = \square \end{matrix}$$

とき方

問3
$$\begin{cases} 3x + 5y = -24 \\ 5x - 4y = 34 \end{cases} \quad \begin{matrix} x = \square \\ y = \square \end{matrix}$$

とき方

問6
$$\begin{cases} 2x + 5y = -14 \\ 6x - y = -10 \end{cases} \quad \begin{matrix} x = \square \\ y = \square \end{matrix}$$

とき方

見直し ☐ 右辺にも同じ数をかけた ☐ 答えを もとの式に入れて 確かめた まちがい () 問



いちごドリルプリント

つづきの無料プリント

「連立方程式」のプリント一覧がひらきます



連立方程式③ 代入法

中2/y=～の式を代入して解く 6問

なまえ _____

ひづけ _____

きまり $y = \sim$ の式を、もう一方の式の y に 入れる (かっこをつけて)

れい (上の式を①、下の式を②とよぶ)

① $y = 2x - 1$

② $x + y = 5$

② の y に ($2x - 1$) を入れる

$x + (2x - 1) = 5 \rightarrow 3x - 1 = 5 \rightarrow x = 2$

① に入れて $y = 2 \times 2 - 1 = 3$

・ $y = \sim$ ($x = \sim$) の式を探す

・ もう一方の式の y (x) に 入れる

・ かっこをはずして 整理する

・ 求めた値を もとの式に入れる

かっこの前が マイナス $\rightarrow$ 中の符号が全部変わる

次の連立方程式を、代入法で解きなさい。 $y = \sim$ ($x = \sim$) を、もう一方の式の y (x) に入れます。
入れるときは かっこをつけましょう。答えは x と y の両方を書く。

問1
$$\begin{cases} y = x - 2 \\ x - 4y = -4 \end{cases} \quad \begin{array}{l} x = \square \\ y = \square \end{array}$$

とき方

問4
$$\begin{cases} x = -2y + 2 \\ 3x - 4y = -34 \end{cases} \quad \begin{array}{l} x = \square \\ y = \square \end{array}$$

とき方

問2
$$\begin{cases} y = x + 4 \\ 5x + 3y = 36 \end{cases} \quad \begin{array}{l} x = \square \\ y = \square \end{array}$$

とき方

問5
$$\begin{cases} y = -2x - 1 \\ 5x - 3y = 36 \end{cases} \quad \begin{array}{l} x = \square \\ y = \square \end{array}$$

とき方

問3
$$\begin{cases} x = -2y + 6 \\ 5x - 2y = -30 \end{cases} \quad \begin{array}{l} x = \square \\ y = \square \end{array}$$

とき方

問6
$$\begin{cases} x = 3y + 3 \\ x - 5y = 9 \end{cases} \quad \begin{array}{l} x = \square \\ y = \square \end{array}$$

とき方

見直し ☐ かっこをつけて 代入した ☐ 答えを もとの式に入れて 確かめた まちがい () 問



いちごドリルプリント

つづきの無料プリント

「連立方程式」のプリント一覧がひらきます



連立方程式④ 整理してから解く

中2 / カッコ・分数・小数のある式 4問

なまえ _____

ひづけ _____

きまり 整数の式に整えてから、加減法か代入法で解く

整える順番
カッコ

$$2(x + 1) = y + 5 \rightarrow 2x + 2 = y + 5 \rightarrow 2x - y = 3$$

分数

$$\frac{1}{x} + \frac{1}{y} = 2 \rightarrow \text{両辺に } 6 \text{ をかけて } 3x + 2y = 12$$

小数

$$0.3x + 0.2y = 1.1 \rightarrow \text{両辺に } 10 \text{ をかけて } 3x + 2y = 11$$

分母をはらう・10倍するときは、右辺を ふくむ全部の項にかける

$A = B = C$ は、2つの式に分けて考える

れい $2x + y = x + 3y = 10 \rightarrow 2x + y = x + 3y$ と $x + 3y = 10$

次の連立方程式を解きなさい。まず、カッコ・分数・小数を なくして 整数の式に整えます。

解き方は 加減法・代入法のどちらでもよい。答えは x と y の両方を書く。

問1
$$\begin{cases} 4(x + 1) + 2y = 3x + 12 \\ 4x + y = 18 \end{cases}$$

$x = \square \quad y = \square$

とき方

問3
$$\begin{cases} 0.2x - 0.3y = -0.9 \\ 3x + 4y = 29 \end{cases}$$

$x = \square \quad y = \square$

とき方

問2
$$\begin{cases} \frac{2x}{3} + \frac{3y}{4} = 1 \\ 3x - y = 22 \end{cases}$$

$x = \square \quad y = \square$

とき方

問4
$$\begin{cases} 4x + 3y = 2x + 4y = 10 \end{cases}$$

$x = \square \quad y = \square$

とき方

見直し ☐ 全部の項に 同じ数をかけた ☐ 答えを もとの式に入れて 確かめた まちがい () 問



いちごドリルプリント

つづきの無料プリント

「連立方程式」のプリント一覧がひらきます



連立方程式⑤ 文章題

中2／式を立てて解く 4問

なまえ _____

ひづけ _____

きまり 文章から 2つの式をつくって、連立方程式を解く

- (1) x と y が何を表すか 決める (問題文に書いてあるときは そのとおり)
- (2) 等しい関係を 2つ 見つけて、式にする
- (3) 連立方程式を解く
- (4) 求めた値が 問題に合っているか 確かめる (個数は 整数で 0以上 など)

れい みかん1個を x 円、りんご1個を y 円とする。3個と2個で 480円 $\rightarrow 3x + 2y = 480$

次の問題を、連立方程式をつくって解きなさい。しき①② に、2つの式を書きます。

答えは 数だけ書く (単位は 答え欄に 印刷してあります)。答えが問題に合っているか 確かめましょう。

問1 えんぴつ2本とノート2冊で460円、
えんぴつ3本とノート4冊で830円。
えんぴつ1本を x 円、ノート1冊を
 y 円として、それぞれの値段を
求めなさい。

しき① _____

しき② _____

とき方

$x =$ 円 $y =$ 円

問3 にわとりとうさぎが合わせて13匹。
足の数は全部で40本です。
(にわとりは足2本、うさぎは足4本)
にわとりを x 羽、うさぎを y 匹として、
それぞれの数を求めなさい。

しき① _____

しき② _____

とき方

$x =$ 羽 $y =$ 匹

問2 1個50円のみかんと1個190円の
りんごを合わせて15個買うと、
代金は1870円でした。
みかんを x 個、りんごを y 個として、
それぞれの個数を求めなさい。

しき① _____

しき② _____

とき方

$x =$ 個 $y =$ 個

問4 大人2人と子ども1人で2200円、
大人1人と子ども1人で1300円。
大人1人を x 円、子ども1人を
 y 円として、それぞれの入場料を
求めなさい。

しき① _____

しき② _____

とき方

$x =$ 円 $y =$ 円

見直し ☐ 式が 問題の文章と合っている ☐ 答えを もとの式に入れて 確かめた まちがい () 問



いちごドリルプリント

つづきの無料プリント

「連立方程式」のプリント一覧がひらきます



連立方程式① 加減法（たす・ひく）【こたえ】

中2／文字を1つ消して解く 6問

なまえ _____

ひづけ _____

きまり 消したい文字の係数を見て、たすかひくかを決める。

れい（上の式を①、下の式を②とよぶ）

$$\textcircled{1} \quad x + 2y = 7$$

$$\textcircled{2} \quad 3x - 2y = 5$$

$$\textcircled{1} + \textcircled{2} \quad 4x = 12$$

$$x = 3 \text{ を } \textcircled{1} \text{ に代入して } 3 + 2y = 7 \rightarrow y = 2$$

たす

係数が 反対の符号（+2 と -2）

ひく

係数が 同じ符号（+2 と +2）

- ・ひくときは、引く式の 全部の項の符号が変わる
- ・文字が1つ消えたら、1つの文字の方程式になる
- ・求めた文字を もとの式に入れて、もう1つを求める

次の連立方程式を、加減法で解きなさい。まず、消したい文字の係数を見て、たすかひくかを決めます。答えが出たら、もとの式に入れて確かめましょう。（答えは x と y の両方を書く）

問1
$$\begin{cases} 2x - 4y = 6 \\ -2x - 5y = 30 \end{cases} \quad x = \boxed{-5} \quad y = \boxed{-4}$$

①+② $-9y = 36 \quad y = -4$
①に代入 $x = -5$

問4
$$\begin{cases} x - y = 4 \\ x + 5y = -14 \end{cases} \quad x = \boxed{1} \quad y = \boxed{-3}$$

①-② $-6y = 18 \quad y = -3$
①に代入 $x = 1$

問2
$$\begin{cases} 2x + 4y = 2 \\ 2x - 4y = -14 \end{cases} \quad x = \boxed{-3} \quad y = \boxed{2}$$

①+② $4x = -12 \quad x = -3$
①に代入 $y = 2$

問5
$$\begin{cases} 2x - 3y = 14 \\ -2x + 2y = -8 \end{cases} \quad x = \boxed{-2} \quad y = \boxed{-6}$$

①+② $-y = 6 \quad y = -6$
①に代入 $x = -2$

問3
$$\begin{cases} x + 3y = 16 \\ 4x + 3y = 19 \end{cases} \quad x = \boxed{1} \quad y = \boxed{5}$$

①-② $-3x = -3 \quad x = 1$
①に代入 $y = 5$

問6
$$\begin{cases} 3x + 3y = -21 \\ x + 3y = -13 \end{cases} \quad x = \boxed{-4} \quad y = \boxed{-3}$$

①-② $2x = -8 \quad x = -4$
①に代入 $y = -3$

丸つけのめやす／つまづきやすいところ

x と y の両方が合って ○。片方だけなら △（合っている文字にも印をつけて、もう一方をやり直す）。

ひく問題は、引く式の全部の項の符号が変わる（ $-2y$ を引くと $+2y$ ）。ここをまちがえていないか確かめる。



いちごドリルプリント

連立方程式② 加減法（係数をそろえる）【こたえ】

なまえ _____

中2／何倍かして係数をそろえる 6問

ひづけ _____

きまり 消したい文字の係数を、同じ数にそろえてから **たす・ひく**

れい（上の式を①、下の式を②とよぶ）

$$\textcircled{1} \quad 2x + 3y = 12 \quad \times 3 \quad 6x + 9y = 36$$

$$\textcircled{2} \quad 3x + 2y = 13 \quad \rightarrow \quad \times 2 \quad 6x + 4y = 26$$

$$\textcircled{1} \times 3 - \textcircled{2} \times 2$$

$$5y = 10$$

$$y = 2 \rightarrow \textcircled{1} \text{ に代入して } x = 3$$

1 係数の 最小公倍数を 見つける

2 その数になるよう 式を何倍かする

3 右辺にも 同じ数を かける

4 たすかひくかを決めて 1つ消す

5 求めた値を もとの式に入れる

次の連立方程式を、加減法で解きなさい。まず、消したい文字の係数を同じ数にそろえます。

式を何倍かするときには、右辺にも同じ数をかけます。答えは x と y の両方を書く。

問1
$$\begin{cases} 3x + 4y = 22 \\ 6x - 5y = -8 \end{cases} \quad \begin{matrix} x = \boxed{2} \\ y = \boxed{4} \end{matrix}$$

$$\textcircled{1} \times 2 - \textcircled{2} \quad 13y = 52 \quad y = 4$$

$$\textcircled{1} \text{ に代入 } x = 2$$

問4
$$\begin{cases} x + 4y = -21 \\ x - 2y = 15 \end{cases} \quad \begin{matrix} x = \boxed{3} \\ y = \boxed{-6} \end{matrix}$$

$$\textcircled{1} + \textcircled{2} \times 2 \quad 3x = 9 \quad x = 3$$

$$\textcircled{1} \text{ に代入 } y = -6$$

問2
$$\begin{cases} x + 3y = -8 \\ 2x + 5y = -15 \end{cases} \quad \begin{matrix} x = \boxed{-5} \\ y = \boxed{-1} \end{matrix}$$

$$\textcircled{1} \times 5 - \textcircled{2} \times 3 \quad -x = 5 \quad x = -5$$

$$\textcircled{1} \text{ に代入 } y = -1$$

問5
$$\begin{cases} 4x + 3y = 19 \\ 2x - 5y = -23 \end{cases} \quad \begin{matrix} x = \boxed{1} \\ y = \boxed{5} \end{matrix}$$

$$\textcircled{1} \times 5 + \textcircled{2} \times 3 \quad 26x = 26 \quad x = 1$$

$$\textcircled{1} \text{ に代入 } y = 5$$

問3
$$\begin{cases} 3x + 5y = -24 \\ 5x - 4y = 34 \end{cases} \quad \begin{matrix} x = \boxed{2} \\ y = \boxed{-6} \end{matrix}$$

$$\textcircled{1} \times 5 - \textcircled{2} \times 3 \quad 37y = -222 \quad y = -6$$

$$\textcircled{1} \text{ に代入 } x = 2$$

問6
$$\begin{cases} 2x + 5y = -14 \\ 6x - y = -10 \end{cases} \quad \begin{matrix} x = \boxed{-2} \\ y = \boxed{-2} \end{matrix}$$

$$\textcircled{1} \times 3 - \textcircled{2} \quad 16y = -32 \quad y = -2$$

$$\textcircled{1} \text{ に代入 } x = -2$$

丸つけのめやす／つまづきやすいところ

何倍かしたとき、右辺にも同じ数をかけているかを見る（左辺だけ変えた式は、たしても ひいても 答えが合わない）。

たすかひくかは、そろえたあとの係数の符号で決まる。消す文字を変えて解いても、答えが同じなら ○。



いちごドリルプリント

連立方程式③ 代入法【こたえ】

中2/y=～の式を代入して解く 6問

なまえ _____

ひづけ _____

きまり $y = \sim$ の式を、もう一方の式の y に 入れる (かっこをつけて)

れい (上の式を①、下の式を②とよぶ)

① $y = 2x - 1$

② $x + y = 5$

② の y に ($2x - 1$) を入れる

$x + (2x - 1) = 5 \rightarrow 3x - 1 = 5 \rightarrow x = 2$

① に代入して $y = 2 \times 2 - 1 = 3$

・ $y = \sim$ ($x = \sim$) の式を 探す

・ もう一方の式の y (x) に 入れる

・ かっこをはずして 整理する

・ 求めた値を もとの式に入れる

かっこの前が マイナス $\rightarrow$ 中の符号が全部変わる

次の連立方程式を、代入法で解きなさい。 $y = \sim$ ($x = \sim$) を、もう一方の式の y (x) に入れます。
入れるときは かっこをつけましょう。答えは x と y の両方を書く。

問1
$$\begin{cases} y = x - 2 \\ x - 4y = -4 \end{cases} \quad \begin{matrix} x = \boxed{4} \\ y = \boxed{2} \end{matrix}$$

代入 $x - 4(x - 2) = -4$
かっこをはずす $x - 4x + 8 = -4$
 $-3x = -12 \quad x = 4 \quad y = 2$

問4
$$\begin{cases} x = -2y + 2 \\ 3x - 4y = -34 \end{cases} \quad \begin{matrix} x = \boxed{-6} \\ y = \boxed{4} \end{matrix}$$

代入 $3(-2y + 2) - 4y = -34$
かっこをはずす $-6y + 6 - 4y = -34$
 $-10y = -40 \quad y = 4 \quad x = -6$

問2
$$\begin{cases} y = x + 4 \\ 5x + 3y = 36 \end{cases} \quad \begin{matrix} x = \boxed{3} \\ y = \boxed{7} \end{matrix}$$

代入 $5x + 3(x + 4) = 36$
かっこをはずす $5x + 3x + 12 = 36$
 $8x = 24 \quad x = 3 \quad y = 7$

問5
$$\begin{cases} y = -2x - 1 \\ 5x - 3y = 36 \end{cases} \quad \begin{matrix} x = \boxed{3} \\ y = \boxed{-7} \end{matrix}$$

代入 $5x - 3(-2x - 1) = 36$
かっこをはずす $5x + 6x + 3 = 36$
 $11x = 33 \quad x = 3 \quad y = -7$

問3
$$\begin{cases} x = -2y + 6 \\ 5x - 2y = -30 \end{cases} \quad \begin{matrix} x = \boxed{-4} \\ y = \boxed{5} \end{matrix}$$

代入 $5(-2y + 6) - 2y = -30$
かっこをはずす $-10y + 30 - 2y = -30$
 $-12y = -60 \quad y = 5 \quad x = -4$

問6
$$\begin{cases} x = 3y + 3 \\ x - 5y = 9 \end{cases} \quad \begin{matrix} x = \boxed{-6} \\ y = \boxed{-3} \end{matrix}$$

代入 $(3y + 3) - 5y = 9$
かっこをはずす $3y + 3 - 5y = 9$
 $-2y = 6 \quad y = -3 \quad x = -6$

丸つけのめやす/つまづきやすいところ

かっこをつけずに 入れると、符号が変わる項を 見落としやすい ($-2(x+4)$ を $-2x+4$ と書く)。

代入した式を整理して 1つの文字の方程式になっているか、途中式を見て確かめる。加減法で解いても、答えが同じなら ○。



連立方程式④ 整理してから解く【こたえ】

中2/かっこ・分数・小数のある式 4問

なまえ _____

ひづけ _____

きまり 整数の式に整えてから、加減法か代入法で解く

整える順番
かっこ

$$2(x + 1) = y + 5 \rightarrow 2x + 2 = y + 5 \rightarrow 2x - y = 3$$

分数

$$\frac{1}{x} + \frac{2}{y} = 2 \rightarrow \text{両辺に } 6 \text{ をかけて } 3x + 2y = 12$$

小数

$$0.3x + 0.2y = 1.1 \rightarrow \text{両辺に } 10 \text{ をかけて } 3x + 2y = 11$$

分母をはらう・10倍するときは、右辺を ふくむ全部の項にかける

A = B = C は、2つの式に分けて考える

$$\text{れい } 2x + y = x + 3y = 10 \rightarrow 2x + y = x + 3y \text{ と } x + 3y = 10$$

次の連立方程式を解きなさい。まず、かっこ・分数・小数を なくして 整数の式に整えます。

解き方は 加減法・代入法のどちらでもよい。答えは x と y の両方を書く。

$$\text{問1 } \begin{cases} 4(x + 1) + 2y = 3x + 12 \\ 4x + y = 18 \end{cases}$$

$$x = \boxed{4} \quad y = \boxed{2}$$

整理：かっこをはずして、x と y の項を左辺に

$$x + 2y = 8 \quad , \quad 4x + y = 18$$

$$x = 4 \quad y = 2$$

$$\text{問3 } \begin{cases} 0.2x - 0.3y = -0.9 \\ 3x + 4y = 29 \end{cases}$$

$$x = \boxed{3} \quad y = \boxed{5}$$

整理：両辺に 10 をかけて整数にする

$$2x - 3y = -9 \quad , \quad 3x + 4y = 29$$

$$x = 3 \quad y = 5$$

$$\text{問2 } \begin{cases} \frac{2x}{3} + \frac{3y}{4} = 1 \\ 3x - y = 22 \end{cases}$$

$$x = \boxed{6} \quad y = \boxed{-4}$$

整理：両辺に 12 をかけて分母をはらう

$$8x + 9y = 12 \quad , \quad 3x - y = 22$$

$$x = 6 \quad y = -4$$

$$\text{問4 } \begin{cases} 4x + 3y = 2x + 4y = 10 \end{cases}$$

$$x = \boxed{1} \quad y = \boxed{2}$$

整理：A=B と B=C の2つの式に分ける

$$2x - y = 0 \quad , \quad x + 2y = 5$$

$$x = 1 \quad y = 2$$

丸つけのめやす/つまづきやすいところ

分母をはらう・10倍するときに、右辺や定数の項に かけ忘れていないかを見る。

かっこをはずすとき、かっこの前が - だと 全部の項の符号が変わる。整理した式が正しいか 見てから解き方を見る。



いちごドリルプリント

連立方程式⑤ 文章題【こたえ】

中2／式を立てて解く 4問

なまえ _____

ひづけ _____

きまり 文章から 2つの式をつくって、連立方程式を解く

- (1) x と y が何を表すか 決める (問題文に書いてあるときは そのとおり)
- (2) 等しい関係を 2つ 見つけて、式にする
- (3) 連立方程式を解く
- (4) 求めた値が 問題に合っているか 確かめる (個数は 整数で 0以上 など)

れい みかん1個を x 円、りんご1個を y 円とする。3個と2個で 480円 $\rightarrow 3x + 2y = 480$

次の問題を、連立方程式をつくって解きなさい。しき①② に、2つの式を書きます。

答えは 数だけ書く (単位は 答え欄に 印刷してあります)。答えが問題に合っているか 確かめましょう。

問1 えんぴつ2本とノート2冊で460円、
えんぴつ3本とノート4冊で830円。
えんぴつ1本を x 円、ノート1冊を
 y 円として、それぞれの値段を
求めなさい。

しき① $2x + 2y = 460$

しき② $3x + 4y = 830$

とき方

① $\times 2$ -② $x = 90 \rightarrow y = 140$

$x = \boxed{90}$ 円 $y = \boxed{140}$ 円

問3 にわとりとうさぎが合わせて13匹。
足の数は全部で40本です。
(にわとりは足2本、うさぎは足4本)
にわとりを x 羽、うさぎを y 匹として、
それぞれの数を求めなさい。

しき① $x + y = 13$

しき② $2x + 4y = 40$

とき方

① $\times 2$ -② $-2y = -14 \ y = 7 \rightarrow x = 6$

$x = \boxed{6}$ 羽 $y = \boxed{7}$ 匹

問2 1個50円のみかんと1個190円の
りんごを合わせて15個買うと、
代金は1870円でした。
みかんを x 個、りんごを y 個として、
それぞれの個数を求めなさい。

しき① $x + y = 15$

しき② $50x + 190y = 1870$

とき方

① $\times 50$ -② $-140y = -1120 \ y = 8 \rightarrow x = 7$

$x = \boxed{7}$ 個 $y = \boxed{8}$ 個

問4 大人2人と子ども1人で2200円、
大人1人と子ども1人で1300円。
大人1人を x 円、子ども1人を
 y 円として、それぞれの入場料を
求めなさい。

しき① $2x + y = 2200$

しき② $x + y = 1300$

とき方

①-② $x = 900 \rightarrow y = 400$

$x = \boxed{900}$ 円 $y = \boxed{400}$ 円

丸つけのめやす／つまづきやすいところ

x と y が何かは 問題文で決まっている。しき①② は 順番が入れかわっていても、同じ式なら ○ (両辺を2倍した式なども ○)。
答えの単位がそろっているか、個数が整数か (0以上か) を確かめる。とき方の欄には、加減法か代入法で解いた計算を書く。



いちごドリルプリント